



第61回

日本口腔科学会北日本地方部会・



第49回

日本口腔外科学会北日本支部学術集会

テーマ

口腔医学の更なる発展を目指して

For the further development of oral medicine

プログラム・抄録集

会期 2023年5月20日①・21日②

開催形式 現地開催ならびにオンデマンド配信

会場 新潟市民プラザ (NEXT21ビル 6階)
〒951-8061 新潟市中央区西堀通六番町866 NEXT21ビル 6階

会長 小林 正治 新潟大学大学院医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野 教授

準備委員長 船山 昭典 新潟大学大学院医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野 講師

後援 一般社団法人 新潟県歯科医師会

<https://shinsen-mc.co.jp/kitanihon2023/>

事務局 新潟大学大学院医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2-5274
TEL:025-227-2880 FAX:025-223-6516

運営事務局 株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

〒950-0983 新潟市中央区神道寺1-6-14
TEL:025-278-7232 FAX:025-278-7285
E-mail:kitanihon2023@shinsen-mc.co.jp

特定非営利活動法人

第61回

日本口腔科学会 北日本地方部会

公益社団法人

第49回

日本口腔外科学会 北日本支部学術集会

テーマ

口腔医学の更なる発展を目指して
For the further development of oral medicine

プログラム・抄録集

会期

2023年5月20日①・21日②

開催形式

現地開催ならびにオンデマンド配信

会場

新潟市民プラザ (NEXT21ビル 6階)

〒951-8061 新潟市中央区西堀通六番町866 NEXT21ビル 6階

会長

小林 正治

新潟大学大学院 医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野 教授

準備委員長

船山 昭典

新潟大学大学院 医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野 講師

後援

一般社団法人 新潟県歯科医師会

日本口腔科学会北日本地方部会

回	開催年	開催地	主 管	演題数	会 長 名
第 1 回	(1963)	仙台	東 北 大 学	25	前 田 栄 一
第 2 回	(1964)	札幌	北 海 道 大 学	20	衛 藤 政 孝
第 3 回	(1965)	盛岡	岩 手 医 科 大 学	18	石 橋 真 澄
第 4 回	(1966)	新潟	新 潟 大 学	21	岡 光 生
第 5 回	(1967)	仙台	東 北 大 学	30	前 田 栄 一
第 6 回	(1968)	札幌	北 海 道 大 学	31	岡 田 泰 紀
第 7 回	(1969)	弘前	弘 前 大 学	29	鈴木 貢
第 8 回	(1970)	盛岡	岩 手 医 科 大 学	29	藤 岡 幸 雄
第 9 回	(1971)	新潟	新 潟 大 学	40	常 葉 信 雄
第10回	(1972)	札幌	札 幌 医 科 大 学	26	佐々木 元 賢
第11回	(1973)	仙台	東 北 大 学	27	前 田 栄 一
第12回	(1974)	郡山	東 北 歯 科 大 学	41	村 瀬 正 雄

日本口腔科学会・日本口腔外科学会合同北日本地方部会

回	開催年	開催地	主 管	演題数	会 長 名
第13回・第 1 回	(1975)	新潟	日 歯 大 新 潟 歯 学 部	40	西 村 恒 一
第14回・第 2 回	(1976)	弘前	弘 前 大 学	29	鈴木 貢
第15回・第 3 回	(1977)	盛岡	岩 手 医 科 大 学	38	鈴木 鐘 美
第16回・第 4 回	(1978)	秋田	秋 田 大 学	43	山 崎 嘉 幸
第17回・第 5 回	(1979)	札幌	北 海 道 大 学	50	石 川 純
第18回・第 6 回	(1980)	仙台	東 北 大 学	56	山 本 肇
第19回・第 7 回	(1981)	郡山	東 北 歯 科 大 学	69	高 井 宏
第20回・第 8 回	(1982)	新潟	新 潟 大 学	61	石 木 哲 夫
第21回・第 9 回	(1983)	旭川	旭 川 医 科 大 学	62	北 進 一
第22回・第10回	(1984)	札幌	東 日 本 学 園 大 学	65	堀 越 達 郎
第23回・第11回	(1985)	山形	山 形 大 学	78	吉 澤 信 三 夫
第24回・第12回	(1986)	盛岡	岩 手 医 科 大 学	58	関 山 信 三 郎
第25回・第13回	(1987)	新潟	日 歯 大 新 潟 歯 学 部	54	加 藤 藤 讓 治
第26回・第14回	(1988)	仙台	東 北 大 学	75	手 島 貞 一
第27回・第15回	(1989)	札幌	札 幌 医 科 大 学	70	小 浜 源 郁
第28回・第16回	(1990)	弘前	弘 前 大 学	69	鈴木 貢
第29回・第17回	(1991)	札幌	北 海 道 大 学	76	河 村 正 昭
第30回・第18回	(1992)	新潟	新 潟 大 学	59	大 橋 靖
第31回・第19回	(1993)	福島	福 島 県 立 医 科 大 学	83	川 寄 健 治
第32回・第20回	(1994)	旭川	旭 川 医 科 大 学	86	北 進 一
第33回・第21回	(1995)	札幌	北 海 道 医 療 大 学	93	金 澤 正 昭 夫
第34回・第22回	(1996)	山形	山 形 大 学	85	吉 澤 信 三 夫
第35回・第23回	(1997)	秋田	秋 田 大 学	93	山 崎 嘉 幸
第36回・第24回	(1998)	新潟	日 歯 大 新 潟 歯 学 部	68	片 桐 正 隆
第37回・第25回	(1999)	新潟	新 潟 大 学	68	中 島 仁 雄
第38回・第26回	(2000)	盛岡	岩 手 医 科 大 学	88	工 藤 啓 吾
第39回・第27回	(2001)	札幌	北 海 道 大 学	89	福 田 博
第40回・第28回	(2002)	弘前	弘 前 大 学	72	木 村 博 人
第41回・第29回	(2003)	仙台	東 北 大 学	66	越 後 成 志
第42回・第30回	(2004)	新潟	日 歯 大 新 潟 歯 学 部	60	土 川 幸 三
第43回・第31回	(2005)	札幌	北 海 道 医 療 大 学	74	有 末 眞
第44回・第32回	(2006)	郡山	奥 羽 大 学	80	大 野 敬
第45回・第33回	(2007)	盛岡	岩 手 医 科 大 学	61	水 城 春 美
第46回・第34回	(2008)	新潟	新 潟 大 学	69	高 木 律 男
第47回・第35回	(2009)	旭川	旭 川 医 科 大 学	76	松 田 光 悦
第48回・第36回	(2010)	仙台	東 北 大 学	77	川 村 仁
第49回・第37回	(2011)	新潟	日 歯 大 新 潟 生 命 歯 学 部	80	又 賀 泉
第50回・第38回	(2012)	札幌	札 幌 医 科 大 学	60	平 塚 博 義
第51回・第39回	(2013)	盛岡	岩 手 医 科 大 学	64	杉 山 芳 樹
第52回・第40回	(2014)	秋田	秋 田 大 学	66	福 田 雅 幸
第53回・第41回	(2015)	札幌	北 海 道 大 学	74	鄭 漢 忠
第54回・第42回	(2016)	山形	山 形 大 学	60	飯 野 光 喜
第55回・第43回	(2017)	函館	社 会 医 療 法 人 北 斗 北 斗 病 院	90	牧 野 修 治 郎
第56回・第44回	(2018)	福島	奥 羽 大 学	70	高 田 訓
第57回・第45回	(2019)	弘前	弘 前 大 学	70	小 林 恒
第58回・第46回	(2020)	仙台	東 北 大 学	67	高 橋 哲
第59回・第47回	(2021)	盛岡	岩 手 医 科 大 学	65	山 田 浩 之
第60回・第48回	(2022)	札幌	北 海 道 大 学	76	北 川 善 政
第61回・第49回	(2023)	新潟	新 潟 大 学	61	小 林 正 治

大会長挨拶



第61回特定非営利活動法人 日本口腔科学会北日本地方部会
第49回公益社団法人 日本口腔外科学会北日本支部学術集会

大会長 **小林 正治** 新潟大学大学院 医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野

第61回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会ならびに第49回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会を担当させていただくきます新潟大学大学院組織再建口腔外科学分野の小林正治です。このような機会を与えていただき大変光栄であるとともに、会員の皆様に深く感謝を申し上げます。

日本口腔外科学会と日本口腔科学会との合同開催となります北日本地方会は、他ブロックとは異なり2日間の会期で開催されます。本大会が、日頃より会員の皆様の抱える臨床ならびに研究上の問題や課題を解決する一助となり、口腔医学の発展に寄与することを祈念いたしまして、本大会のテーマは「口腔医学のさらなる発展を目指して」といたしました。

教育講演には新潟大学大学院医歯学総合研究科腫瘍内科学分野 西條康夫教授に「がん薬物療法」についてご講演をいただき、リフレッシュセミナーでは新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面放射線学分野 林孝文教授に「顎顔面口腔領域における画像診断」についてお話しいただきます。また、ミニレクチャーとして日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座 田中 彰教授に「遺伝性血管性浮腫の診断」についてご講演いただきます。各先生方によるご講演は、会員の皆様にとりまして大変興味深い内容になることと存じます。

また、日本口腔科学会では将来の口腔科学会の担い手を育てる目的で、地方部会における発表時に卒後研修開始後3年以内の方を対象として新人賞を選考いたします。本大会では、5名の方に演題をご登録いただきました。

本大会は現地＋オンデマンド形式での開催とさせていただきますが、コロナ禍も大分落ち着き、社会における行動制限も緩和されてきました。是非、多くの会員の皆様に現地にご参集いただき、活発な意見交換や情報交換を通してその成果を明日の臨床ならびに研究に大いに役立てていただきたいと思います。新潟は、うまい米、うまい米からできる銘酒、新鮮な海の幸など食の宝庫であります。熱い討議の後には、新潟の「うんめもん」をたくさん食していただき、初夏の新潟の魅力も十分に堪能していただきたいと思います。会員の皆様の新潟へのお越しを心より歓迎いたします。

ご参加の皆様へ

本会は、現地参加ならびにオンデマンド配信での開催となります。
現地参加で登録された方にも、オンデマンド配信の視聴に必要な情報をご案内いたしますので、状況により参加形式の変更が可能です。
※参加受付は、事前参加登録制となりますので予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

1. 参加登録受付期間 ※本会は事前参加登録制です。当日登録はございません。

■ 現地参加

2023年3月1日(水)～4月17日(月)

■ オンライン参加(オンデマンド視聴のみ)

2023年3月1日(水)～6月23日(金)正午

〈オンデマンド配信期間〉 5月29日(月)～6月24日(土)

準備の都合上、配信開始日は前後する場合がございますので、ご了承ください。

※現地参加の方は、オンデマンド配信視聴も可能です。

2. 参加費

参加種別	料金	備考
医師・歯科医師	10,000円	※プログラム・抄録集代込
医師・歯科医師以外	3,000円	※プログラム・抄録集代別
学生 ※大学院生は除く	無料	※プログラム・抄録集代別
リフレッシュセミナー	3,000円	※リフレッシュセミナーのみの参加も可能
プログラム・抄録集	2,000円	

※大学院生は学部学生区分に含まれませんのでご注意ください。

※学部学生の方は、学生証の写しを事前参加登録時にアップロードしてください。

※お支払いいただいた参加費は、理由の如何に関わらず一切返金できかねます。

3. 参加登録方法

参加登録は本会ホームページ内、参加登録のご案内ページよりお申込みください。

4. プログラム・抄録集ならびに参加証(兼領収書)について

2023年4月17日(月)までに参加登録および参加費の決済が完了した方へは、事前にお送りしております。
オンライン参加の方で4月17日(月)以降に参加登録および参加費の決済が完了された方へも順次発送いたしますが、参加登録・決済のタイミングによりましては会期終了後の発送になる場合もございますので予めご了承ください。

5. オンデマンド配信の視聴方法について

オンデマンド配信視聴用の URL は参加登録時のメールアドレスに記載されています。
視聴方法等の詳細は、順次ホームページにてご案内いたします。

6. 単位の認定について

〈現地参加の方〉

【日本口腔外科学会】

現地参加の方の参加単位ならびにリフレッシュセミナーの単位申請は「会員証」により受付を行いますので、必ずご持参ください。

【口腔科学会】

リフレッシュセミナーは日本口腔科学会 教育研修会参加単位として認定されております。単位を希望される方は、事前参加登録のリフレッシュセミナー申込時に、日本口腔科学会単位教育研修会単位欄で「希望する」を選択してください。

◆日本歯科医師会生涯研修単位◆

日歯生涯研修 IC カードを忘れずにご持参ください。

〈オンライン参加の方(オンデマンド視聴)〉

【日本口腔外科学会】

参加単位ならびにリフレッシュセミナーの単位取得はどちらも視聴ログによる確認を行います。視聴確認がとれない場合、単位は取得できません。

【口腔科学会】

リフレッシュセミナーは日本口腔科学会 教育研修会参加単位として認定されております。単位を希望される方は、事前参加登録のリフレッシュセミナー申込時に、日本口腔科学会単位教育研修会単位欄で「希望する」を選択してください。

オンデマンド視聴での単位取得方法の詳細については、順次ホームページにてご案内いたします。

◆日本歯科医師会生涯研修単位◆

事前参加登録時に単位申請手続きを行ってください。

単位を希望される場合は、お手元の日歯生涯研修事業受講研修登録用の「IC カード」表面に記載されている番号(※)が必須となります。

※生涯研修 ID カードの氏名右下に記載されている6桁の数字です。



7. ランチョンセミナーについて

1日目の5月20日(土)はランチョンセミナーの開催がございません。会場周辺施設(NEXT21ビル内含む)にてご昼食をお取りください。

2日目の5月21日(日)はランチョンセミナーの開催がございますが、配布するお弁当は個数に限りがあり、先着順となりますので予めご了承ください(整理券制ではございません)。

8. クロークについて

5月20日(土) 8:15~18:15

5月21日(日) 8:30~16:00

なお、貴重品、精密機器等の紛失、破損等の責任は負いかねますので、各自での管理をお願い申し上げます。

9. 評議員会・代議員会のお知らせ

5月20日(土)12:00より特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会評議員会・公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部代議員会を開催いたします。

昼食をご用意しておりますので、両学会の評議員・代議員の先生は講演会場にご参集ください。

座長・演者の皆様へ

会場では、参加者の皆様に安心してご登壇いただけるよう、感染対策を徹底した学会運営を行って参ります。座長・演者の先生方には、現地でのご発表にご協力をお願いいたします。

1. 座長の皆様へ

ご担当セッション開始の10分前までに会場内右前方の次座長席にご着席ください。
定刻進行にご協力をお願いいたします。

2. 演者の皆様へ

一般演題は、発表6分、質疑応答2分の計8分です。

演者は、発表の30分前までにPC受付にお越しいただき、スライド試写をお済ませください。また、発表の10分前までに会場内左前方の次演者席にご着席ください。

◆ PC 発表データ受付

受付場所：PC 受付

受付時間：5月20日(土) 8:00～17:30

5月21日(日) 8:00～14:00

※21日(日)のセッションも20日(土)に発表データ受付可能です。

〈発表データ持参の場合〉

1. メディアは、USB フラッシュメモリでの持ち込みに限ります。
※ CD-R や他の媒体でのお持ち込みはできませんので、ご注意ください。
2. 発表データのファイル名は「演題番号(半角)+発表者名」としてください。
(企画演題の先生は「セッション名+氏名」にてお願いいたします)
3. 事務局準備のパソコンのOSは、Windows10を用意いたします。データ作成のアプリケーションソフトは、Microsoft Power Point です。Macintosh で作成されたデータには対応できませんので、必ずご自身のパソコンをお持ち込みください。
4. フォントは Windows に標準装備されているフォント (MS・MSP ゴシック、MS・MSP 明朝、Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman) をご使用ください。
5. 発表スライドのサイズは16:9を推奨しております。
6. PowerPoint の機能の中にある「発表者ツール」を使用しての発表はできませんので、作成の際はご注意ください。
7. 動画 (PowerPoint のアニメーション機能除く) を使用される場合は、ご自身のノートパソコンをご持参ください。音声は利用できません。
8. お預かりした発表データは、学会終了後に事務局にて責任をもって消去いたします。

〈ノートパソコン持参の場合〉

1. ご自身のノートパソコンをお持ち込みの場合は、PC 受付でパソコンの出力確認後、発表セッション開始30分前までに会場内演台横のオペレーター席までご自身でパソコンをお持ちください。パソコンは、発表終了後にオペレーター席にて返却いたします。
2. ノートパソコンをお持ち込みの場合でも、バックアップ用データを USB フラッシュメモリでご持参ください。
3. 会場で用意する PC ケーブルコネクタの形状は HDMI または D-sub 15pin (ミニ) です。変換コネクタが必要な場合は必ずご持参ください。

4. 音声の利用はできません。
5. スクリーンセーバーや省電力設定など、発表の妨げとなるツールは予め解除してください。
6. 発表者ツールのご使用はご遠慮ください。
7. 電源ケーブルは必ずご持参ください。

3. 新人賞について【日本口腔科学会】

日本口腔科学会では将来の口腔科学会の担い手を育てる目的で、地方部会において新人賞を設立する運びとなり、本学会でも新人賞の選考を行います。

- 受賞者には副賞として2万円を贈呈いたします。
- 授与された内容は次年度の日本口腔科学会総会において、受賞内容を特設した枠で報告していただきます。
- 授与された内容は学会誌（日本口腔科学会雑誌・Oral Science International）もしくは学会書籍（Oral Science in Japan）に投稿することを推奨します（2次投稿も可）。

〈新人賞セッション日時〉

2023年5月20日（土）13:40～14:20

4. 演者ならびに共同演者は、発表される学会の会員に限ります。

未入会の方は学会当日までに下記学会事務局にて入会手続きをお取りください。

● 特定非営利活動法人日本口腔科学会

一ツ橋印刷株式会社 学会事務センター内
E-mail : jss-service@onebridge.co.jp
TEL : 03-5620-1953 FAX : 03-5620-1960
〒135-0033 東京都江東区深川2-4-11
URL : <http://stomatol.umin.jp/prof/nyukai.html>

● 公益社団法人日本口腔外科学会

E-mail : apply@jsoms.or.jp
TEL : 03-5422-7731 FAX : 03-6381-7471
〒108-0014 東京都港区芝5-27-1 三田SSビル3F
URL : <https://www.jsoms.or.jp/medical/admission/guide/>

5. 利益相反(COI)の開示

● 特定非営利活動法人日本口腔科学会

日本口腔科学会の利益相反(COI)開示に関する指針等により、利益相反(COI)の開示が求められています。以下の2点についてご協力をお願いいたします。

- (1) 演題登録時に「利益相反(COI)自己申告書」(様式1)により開示
- (2) 口演発表データ作成時に(様式2)により開示

※詳細は日本口腔科学会 HP : 「利益相反(COI)」をご参照ください。

<http://stomatol.umin.jp/coi/>

●公益社団法人日本口腔外科学会

日本口腔外科学会口腔外科学研究の利益相反(COI)に関する指針等により、利益相反(COI)の開示が求められています。以下の2点についてご協力をお願いいたします。

- (1) 演題登録時に「利益相反(COI)自己申告書」(様式1)により開示
(申告書をアップロードしてください)
- (2) 口演発表データ作成時に(様式2)により開示

※詳細は日本口腔外科学会 HP「諸規則」→「利益相反(COI)に関する指針」をご参照ください。
<https://www.jsoms.or.jp/medical/about/regulations/>

6. 事後抄録の提出

- 日本口腔科学会発表演題のみ、事後抄録の提出をお願いいたします。
- 事後抄録は400字以内です。
- 口腔科学会雑誌の投稿規定(<http://stomatol.umin.jp/chihou/syouroku.html>)に従って、A4版用紙40字×20行で作成してください。
- 1ページ目を表紙とし、演題番号、演題、演者名(発表者に○印)、所属を記載、2ページ目に抄録内容を記載してください。
- 会期終了後1週間以内に、下記運営事務局メールアドレスまでご提出をお願いいたします。
- 事後抄録のご提出がない場合は、演題登録時の事前抄録を使用させていただきます。

【事後抄録提出期限】

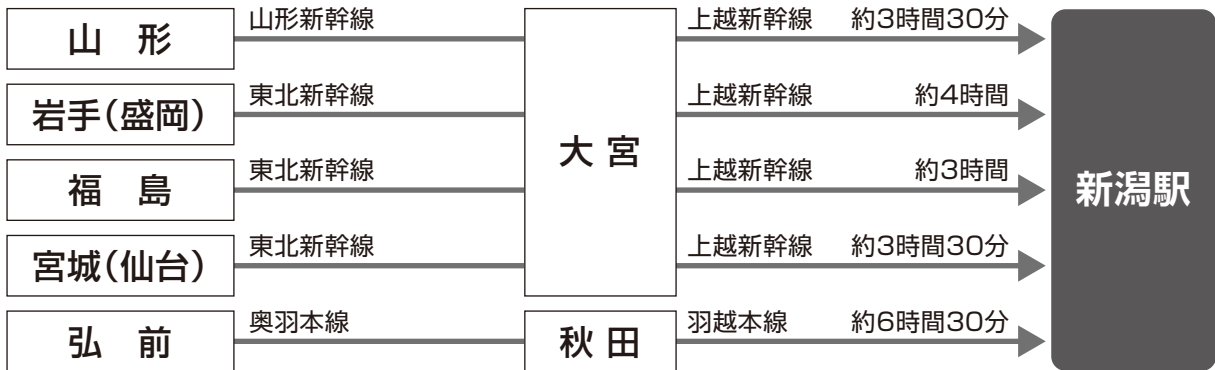
2023年5月29日(月)

【提出先】

運営事務局 E-mail: kitanihon2023@shinsen-mc.co.jp

交通のご案内

■新潟駅までのアクセス(鉄道利用)



※新青森経由(大宮乗換)新幹線もございます。所要時間約6時間

■新潟駅までのアクセス(飛行機利用)

新千歳空港から新潟空港まで約1時間15分、新潟空港から新潟駅までリムジンバスで約25分

■新潟駅から会場へのアクセス(新潟市内バス)



[会場近隣に停車するバス]

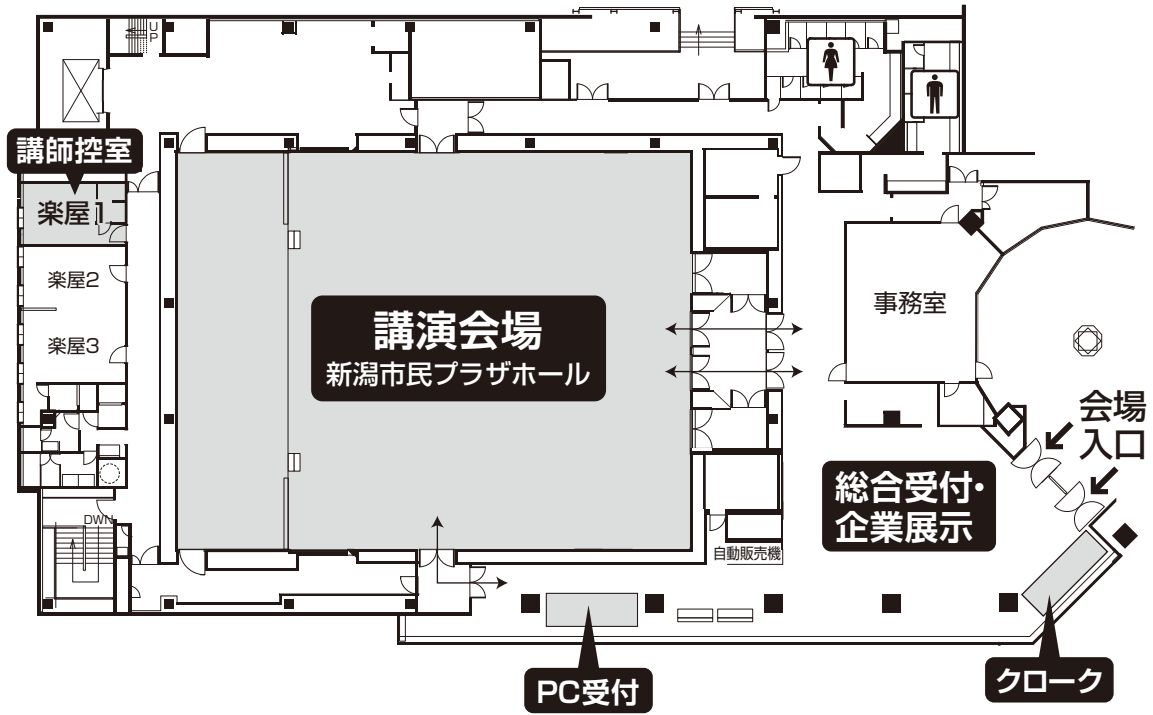
- 0番線：(B1)萬代橋ライン(BRT)、
(W3・W4)寺尾線・大堀線直通
- 5番線：(W2)西小針線 バス停下車、徒歩1分
- 6番線：(C3)信濃町線、(W1)有明線で
「古町」バス停下車、徒歩1分
- 7番線：(C2)浜浦町線 バス停下車、徒歩1分

[降車場所]

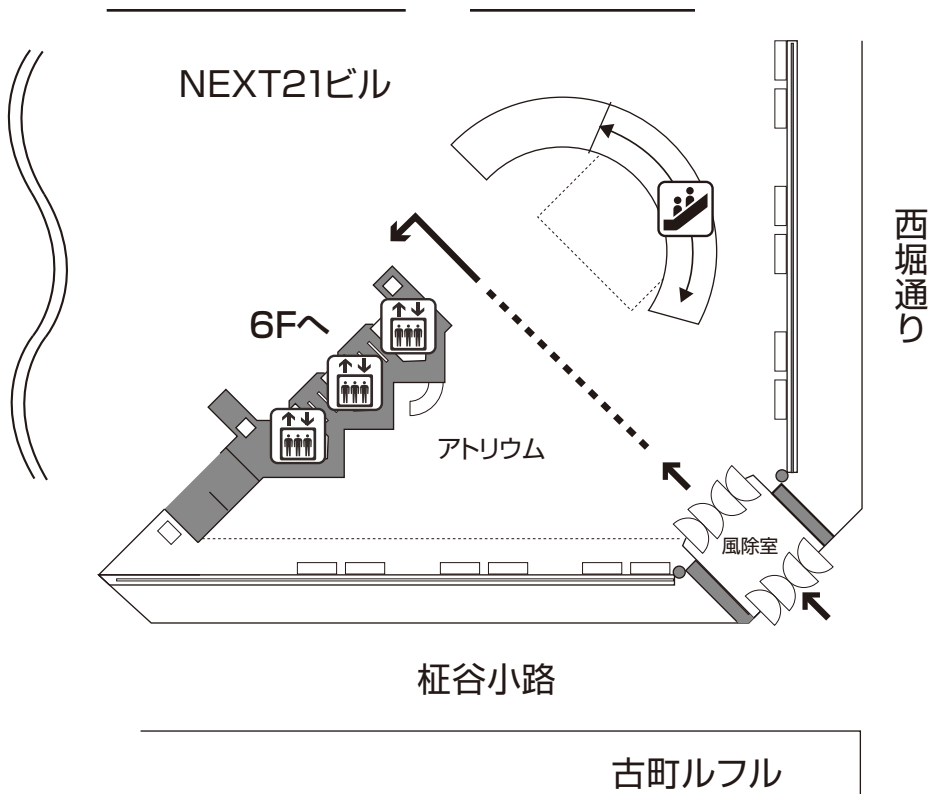
- ① (W2)西小針線
- ② (C3)信濃町線、(W1)有明線
- ③ (B1)萬代橋ライン(BRT)、
(W3・W4)寺尾線・大堀線直通
- ④ (C2)浜浦町線

会場のご案内

6F



1F



日 程 表

5月20日(土)

8:45	8:50~	開 会 式
9:00	9:00~9:32	一般演題 1 「良性腫瘍 1」 O1-1~O1-4 座長：小林 英三郎、石川 恵生
	9:35~10:07	一般演題 2 「悪性腫瘍 1」 O2-1~O2-4 座長：小林 孝憲、吉田 将重
10:00	10:10~10:42	一般演題 3 「外 傷」 O3-1~O3-4 座長：井筒 崇司、川井 忠
	10:45~11:17	一般演題 4 「再生医療・インプラント」 O4-1~O4-4 座長：村田 勝、野上 晋之介
11:00	11:25~11:45	日本口腔外科学会 理事長講演 Sustainable な(公社)日本口腔外科学会へ～現状と課題～ 座長：小林 恒 演者：池邊 哲郎
12:00	12:00~12:50	特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会 評議員会 公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部 代議員会
13:00	13:00~13:30	総会(会務報告)
	13:40~14:20	一般演題 5 「新人賞応募演題」 O5-1~O5-5 座長：北川 善政、飯野 光喜
14:00	14:30~15:30	教育講演 口腔がんに対する最新がん薬物療法 座長：小林 正治 演者：西條 康夫
	15:35~16:07	一般演題 6 「良性腫瘍 2」 O6-1~O6-4 座長：久保田 耕世、鳥谷部 純行
16:00	16:10~16:42	一般演題 7 「悪性腫瘍 2」 O7-1~O7-4 座長：平井 秀明、藤盛 真樹
	16:45~17:17	一般演題 8 「囊 胞」 O8-1~O8-4 座長：川原 一郎、菅野 千敬
17:00	17:20~18:00	一般演題 9 「血液疾患・その他」 O9-1~O9-5 座長：小野 貢伸、高野 裕史
18:00		

5月21日(日)

	9:00~9:32	一般演題 10 「良性腫瘍 3」 O10-1~O10-4 座長：高橋 悠、佐々木 敬則
	9:35~10:07	一般演題 11 「悪性腫瘍 3」 O11-1~O11-4 座長：足利 雄一、林 信
	10:10~10:50	一般演題 12 「炎症・免疫性疾患」 O12-1~O12-5 座長：坂田 健一郎、池谷 進
	11:00~11:30	ミニレクチャー 遺伝性血管性浮腫のUP TO DATE 座長：新美 奏恵 演者：田中 彰
	11:40~12:00	日本口腔科学会 理事長講演 口腔科学・口腔医療からウェルビーイングに貢献する 座長：飯野 光喜 演者：片倉 朗
	12:10~13:00	ランチョンセミナー 座長：上田 倫弘 顎変形症手術におけるSONOPET iQ®とNasoPore®の使用経験 演者：遠藤 学 口腔癌手術におけるSONOPET iQ®の使用経験 演者：林 信 共催：日本ストライカー株式会社
	13:10~13:50	一般演題 13 「顎関節疾患」 O13-1~O13-5 座長：長谷部 大地、後藤 哲
	13:55~14:35	一般演題 14 「発育異常」 O14-1~O14-5 座長：高野 昌士、沖田 美千子
	14:40~15:45	リフレッシュセミナー 顎顔面口腔領域における画像診断の進歩 座長：富原 圭 演者：林 孝文
	15:45~15:50	閉 会 式

プログラム

1日目 5月20日(土)

8:50～ 開会式

9:00～9:32 一般演題1 [良性腫瘍1]

座長：小林 英三郎(日本歯科大学新潟病院 口腔外科)
石川 恵生(山形大学 医学部 歯科口腔 形成外科学講座)

- 口科 O1-1** 顎下部に生じた異所性唾液腺由来の多形腺腫の1例
岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 池田 裕之介 他
- 口外 O1-2** 再発をきたした導管内乳頭腫の1例
岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 齋藤 勇起 他
- 口科 O1-3** 診断と治療に苦慮した知的障害者の下顎エナメル上皮腫の1例
弘前大学大学院 医学研究科 歯科口腔外科学講座 小松 正太郎 他
- 口外 O1-4** 上顎骨の歯原性角化嚢胞に後発したと思われるエナメル上皮腫の1例
奥羽大学 歯学部 口腔外科学講座 高良 宗斉 他

9:35～10:07 一般演題2 [悪性腫瘍1]

座長：小林 孝憲(長岡赤十字病院 歯科口腔外科)
吉田 将重(旭川医科大学 歯科口腔外科学講座)

- 口外 O2-1** 上顎骨に生じた FUS-TFCP2 遺伝子再構成紡錘形細胞横紋筋肉腫(SCRMS)の1例
公立置賜総合病院 歯科口腔外科 小林 武仁 他
- 口外 O2-2** 15歳で発症し2度再発を繰り返した若年性舌扁平上皮癌の1例
日本歯科大学 新潟生命歯学部 顎口腔全身関連治療学 小林 由奈 他
- 口外 O2-3** 上顎臼歯部に生じた硬化性歯原性癌の1例
長野赤十字病院/信州大学 医学部 歯科口腔外科学教室 櫻井 精斉 他
- 口外 O2-4** 口腔癌の治療を契機に発症した抗利尿ホルモン不適合分泌症(SIADH)の2例
秋田大学医学部附属病院 歯科口腔外科 伊東 慶介 他

10:10～10:42

一般演題3 [外傷]

座長：井筒 崇司(山形県立中央病院 歯科口腔外科)

川井 忠(岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野)

- 口外 O3-1** 顔面多発骨折に対して3D シミュレーションを行い、
観血的整復固定を行った1例
北海道公立大学法人 札幌医科大学 医学部 口腔外科学講座 加藤 大貴 他
- 口外 O3-2** カスタムメイド・チタンメッシュシートを使用して整復した
関節突起上顎部骨折の1例
岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 川又 慎介 他
- 口外 O3-3** 治療方針決定に苦慮した自殺企図転落による全身ならびに顔面多発骨折の1例
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 組織再建口腔外科学分野 原 太一 他
- 口外 O3-4** 上顎洞内に迷入した医原性異物の1例
日本歯科大学大学院 新潟生命歯学研究科 顎口腔全身関連治療学 全 あけ美 他

10:45～11:17

一般演題4 [再生医療・インプラント]

座長：村田 勝(北海道医療大学 歯学部 口腔再生医学分野)

野上 晋之介(東北大学大学院歯科研究科 顎顔面口腔再建外科学分野)

- 口科 O4-1** 歯根膜培養上清による歯髓細胞の歯根膜様細胞への誘導に関する
エピジェネティクス修飾の解明
北海道医療大学 歯学部 生体機能・病態学系 顎顔面口腔外科学分野 原田 文也 他
- 口外 O4-2** 当科における培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞底挙上術
新潟大学医歯学総合病院 顎顔面口腔外科 永井 孝宏 他
- 口科 O4-3** 下顎インプラント支持パーシャルデンチャー患者の臨床的検討
社会医療法人仁愛会 新潟中央病院 歯科口腔外科 鶴巻 浩 他
- 口外 O4-4** 外傷後の上下顎歯科インプラント再治療に All-on-4 concept に基づく
治療を行った1例
マロ・デンタル&メディカル東京 上杉 崇史 他

**DL-1 Sustainable な（公社）日本口腔外科学会へ
～現状と課題～**

池邊 哲郎 公益社団法人 日本口腔外科学会 理事長／
福岡歯科大学 口腔外科学分野 教授

12:00～12:50

特定非営利活動法人 日本口腔科学会北日本地方部会 評議員会
公益社団法人 日本口腔外科学会北日本支部 代議員会

13:00～13:30 総会（会務報告）

13:40～14:20 一般演題5 [新人賞応募演題]

座長：北川 善政（北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学分野 口腔診断内科学教室）
飯野 光喜（山形大学 医学部 歯科口腔・形成外科学講座）

- 口科 O5-1** 扁平上皮癌における苦味受容体 Tas2r シグナルの解析
北海道医療大学 歯学部 組織再建口腔外科学分野 Nasrun Nisrina 他
- 口科 O5-2** 当科における顎変形症患者に対する外科的矯正治療後のアンケート調査
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 組織再建口腔外科学分野 早川 里佳 他
- 口科 O5-3** 北海道大学病院口腔内科における放射線性顎骨壊死の背景
北海道大学大学院 歯学研究院 口腔診断内科学教室 田辺 桐吾 他
- 口科 O5-4** 外科的治療を行った薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）に対する臨床的検討
山形大学医学部附属病院 歯科口腔・形成外科学講座 鈴木 汀子 他
- 口科 O5-5** 診断に苦慮した口腔病変を伴ったクローン病の1例
北海道大学大学院 歯学研究院 口腔診断内科学教室 徳永 貴亮 他

座長：小林 正治（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 組織再建口腔外科学分野 教授）

ES 口腔がんに対する最新がん薬物療法

西條 康夫 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍内科学分野 教授

15:35～16:07 一般演題6 [良性腫瘍 2]

座長：久保田 耕世（弘前大学大学院医学研究科 歯科口腔外科）
鳥谷部 純行（医療法人回生会 大西病院 歯科口腔外科）

- 口外 O6-1** 上顎洞に進展した巨大な歯牙腫（複雑型）の1例
会津中央病院 歯科口腔外科 吉開 義弘 他
- 口外 O6-2** 上顎に生じた巨大な歯牙腫の1例
東北大学大学院 歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 顎顔面口腔外科学分野 深瀬 了嗣 他
- 口外 O6-3** 左側頬部軟部組織に発生した粘液腫の1例
社会医療法人母恋 日鋼記念病院 歯科口腔外科 平郡 唯衣 他
- 口外 O6-4** 下顎前歯部に生じた歯原性粘液腫の1例
独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 歯科口腔外科 福重 拓也 他

16:10～16:42 一般演題7 [悪性腫瘍 2]

座長：平井 秀明（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野）
藤盛 真樹（独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院 歯科口腔外科）

- 口外 O7-1** ニボルマブによる完全奏功後、2年未満で投与終了となり再発した舌癌の1例
富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 石坂 理紗 他
- 口外 O7-2** 再建手術後の残舌に発生した T3舌癌に対して
術前動注化学療法、縮小手術を施行した一例
福島県立医科大学附属病院 歯科口腔外科 金谷 佳明 他
- 口外 O7-3** 上顎智歯歯原性嚢胞から生じた上顎顎骨中心性癌の1例
札幌医科大学 医学部 口腔外科学講座 橋 雄馬 他
- 口外 O7-4** 初診時から舌リンパ節に転移を認めた口底癌の一例
北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学分野 口腔顎顔面外科学教室／
北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学分野 血管生物分子病理学教室 武田 叡司 他

座長：川原 一郎(奥羽大学 歯学部 口腔外科学講座)

菅野 千敬(福島県立医科大学 歯科口腔外科)

- 口外 08-1** 当科における歯原性角化嚢胞23症例に対する臨床的検討
山形大学医学部附属病院 歯科口腔・形成外科学講座 関口 真人 他
- 口外 08-2** 当科における歯原性角化嚢胞の臨床的検討
置賜区域病院企業団 公立置賜総合病院 歯科口腔外科 須貝 彩夏 他
- 口外 08-3** 2歳児の下顎骨に発生した脈瘤性骨嚢胞の1例
東北大学大学院 歯学研究科 顎顔面・口腔外科学分野 五十嵐 彩乃 他
- 口外 08-4** 対側舌下隙に波及した舌下型ラヌーラの1例
医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院 安藤 巧 他

座長：小野 貢伸(市立札幌病院 歯科口腔外科)

高野 裕史(秋田大学医学部附属病院 歯科口腔外科)

- 口外 09-1** 下顎骨に生じた悪性リンパ腫の1例
市立札幌病院 歯科口腔外科 川邊 功弥 他
- 口外 09-2** 口腔内に初発した悪性リンパ腫の1例
砂川市立病院 歯科口腔外科／
北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学分野 口腔診断内科学教室 加藤 泰史 他
- 口外 09-3** 口腔内出血を契機に COVID-19感染後の汎血球減少症が発見された1例
福島県立医科大学附属病院 歯科口腔外科 本田 良輔 他
- 口外 09-4** 奥羽大学歯学部附属病院口腔外科における
舌痛症患者動向に COVID-19パンデミックが及ぼした影響
奥羽大学大学院 歯学研究科 口腔病態学分野 顎口腔外科学 渡邊 輝 他
- 口外 09-5** 高齢入院患者における最大舌圧とサルコペニアとの関係
会津中央病院 歯科口腔外科 星 千尋 他

2日目 5月21日(日)

9:00～9:32

一般演題 10 [良性腫瘍 3]

座長：高橋 悠（日本歯科大学 新潟生命歯学部 口腔外科学講座）
佐々木 敬則（札幌医科大学 医学部 口腔外科講座）

- 口外 O10-1** 顎下部に発生した静脈奇形の1例
長野赤十字病院 歯科口腔外科 傳田 祐也 他
- 口外 O10-2** 頬部に生じた孤立性線維腫の一例
神奈川歯科大学附属横浜クリニック 横浜研修センター 歯科口腔外科 秋山 広希 他
- 口外 O10-3** 吸収性メッシュプレートを用いた
自家腸骨海綿骨細片移植した骨形成線維腫の1例
弘前大学大学院 医学研究科 歯科口腔外科学講座 高木 康貴 他
- 口外 O10-4** 口蓋の唾液腺腫瘍を疑った線維組織増生の1例
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 歯科口腔外科 佐藤 和将 他

9:35～10:07

一般演題 11 [悪性腫瘍 3]

座長：足利 雄一（北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学講座 口腔顎顔面外科教室）
林 信（独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 口腔腫瘍外科）

- 口科 O11-1** 頭頸部扁平上皮癌における
POSTN 遺伝子の発現量と生存率との相関性：in silico 分析
奥羽大学歯学部附属病院 口腔外科学講座（口腔外科学分野） 神林 直大 他
- 口外 O11-2** 口腔がんの重複癌検索における当院での PET-CT 検査の現状と有用性
山形大学医学部附属病院 歯科口腔形成外科学講座 奥山 尚樹 他
- 口外 O11-3** 切除不能の進行・再発口腔癌に対する
超選択的動注化学放射線治療の臨床的検討
弘前大学大学院 医学研究科 歯科口腔外科学講座 伊藤 良平 他
- 口外 O11-4** 過去5年間に当科を受診した頭頸部原発悪性リンパ腫の検討
新潟県立中央病院 歯科口腔外科 村山 和義 他

座長：坂田 健一郎（北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学分野 口腔診断内科学教室）
池谷 進（総合南東北病院 歯科口腔外科）

- 口外 O12-1** 超高齢者に発症した下顎骨骨髓炎に起因する壊死性筋膜炎の1例
札幌医科大学 医学部 口腔外科学講座 榎本 隆久 他
- 口外 O12-2** 腹膜透析患者の筋突起に腐骨化を生じた側頭窩・咀嚼筋隙膿瘍の1例
社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院 歯科口腔外科 中里 紘 他
- 口外 O12-3** 下顎枝に生じた嚢胞の感染によって髄膜炎様症状を呈した1例
旭川医科大学 医学部 歯科口腔外科学講座 佐藤 栄晃 他
- 口外 O12-4** MTX 内服患者の下顎歯肉と口蓋扁桃に併発した EBV 陽性粘膜皮膚潰瘍の1例
新潟大学医歯学総合病院 顎顔面口腔外科 永井 孝宏 他
- 口外 O12-5** 五苓散が有効であった First bite syndrome の一例
北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学講座 口腔診断内科学教室 近藤 優理絵 他

座長：新美 奏恵（新潟大学医歯学総合病院 患者総合サポートセンター 准教授）

ML 遺伝性血管性浮腫の UP TO DATE

田中 彰 日本歯科大学 新潟生命歯学部 口腔外科学講座 教授

座長：飯野 光喜（山形大学 医学部 歯科口腔・形成外科学講座 教授）

DL-2 口腔科学・口腔医療からウェルビーイングに貢献する

片倉 朗 特定非営利活動法人 日本口腔科学会 理事長／
東京歯科大学 口腔病態外科学講座 教授

座長：上田 倫弘(独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 口腔腫瘍外科 医長)

LS-1 顎変形症手術における SONOPET iQ[®]と NasoPore[®]の使用経験

遠藤 学 大原総合病院 歯科口腔外科・顎変形症センター 部長 兼センター長

LS-2 口腔癌手術における SONOPET iQ[®]の使用経験

林 信 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 口腔腫瘍外科 医長

座長：長谷部 大地(新潟大学大学院 医歯学総合研究科 組織再建口腔外科学分野)

後藤 哲(仙台医療センター 歯科口腔外科)

口科 O13-1 当科過去6年間における顎関節症患者の臨床的検討

山形大学 医学部 歯科口腔・形成外科学講座 日塔 啓介 他

口外 O13-2 動静脈奇形(AVM)様病変を伴う顎関節強直症再発例に対する治療経験

信州大学 医学部 歯科口腔外科学教室 酒井 佑樹 他

口外 O13-3 顎関節強直症に対して口内法による顎関節低位授動術を行った1例

苫小牧市立病院 歯科・歯科口腔外科 村田 翼 他

口外 O13-4 3次元実体模型での術前シミュレーションにより 理想的に切除した下顎頭骨軟骨腫の1例

岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 鈴木 舟 他

口外 O13-5 聴覚障害をきたした顎関節結節性偽痛風の1例

青森県立中央病院 歯科口腔外科/
岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 武田 啓 他

座長：高野 昌士(北斗病院 歯科口腔外科)

沖田 美千子(医療法人 溪仁会 手稻溪仁会病院 歯科口腔外科)

口外 O14-1 片側性下顎頭過形成を伴う顔面非対称患者に対して 下顎頭切除術と顎矯正手術を同時に施行した1例

東北大学大学院 歯学研究科 顎顔面・口腔外科学分野 岩前 有香 他

- 口外 O14-2** 咀嚼筋腱・腱膜過形成症に伴う下顎骨の変形に対し
ガイドサージェリーを用いて治療した1例
北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学分野 口腔顎顔面外科学教室 高橋 賢多 他
- 口科 O14-3** 両側頬粘膜に生じた頬粘膜憩室様病変の1例
公立置賜総合病院 歯科口腔外科 國井 俊介 他
- 口外 O14-4** 上顎小臼歯と埋伏過剰歯の癒合歯の2例
長岡赤十字病院 歯科口腔外科 笠原 映 他
- 口外 O14-5** 様々な形態異常を呈した奇形歯の1例
医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院 歯科口腔外科 小野寺 麻記子 他

14:45～15:45 リフレッシュセミナー

座長：富原 圭（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野 教授）

RS 顎顔面口腔領域における画像診断の進歩

林 孝文 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野 教授

15:45～15:50 閉会式

教育講演

ES 口腔がんに対する最新がん薬物療法

西條 康夫（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍内科学分野 教授）

座長：小林 正治（新潟大学大学院 医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野 教授）



口腔がんに対する最新がん薬物療法

西條 康夫

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍内科学分野

口腔がんに対する薬物療法は、頭頸部がんの一部として扱われるので、本講演でも頭頸部がんに対するエビデンスを中心に、他のがんとの対比を交えながら講演をする。最後に、新規治療である BNCT および光免疫治療についても紹介する。

頭頸部がんにおけるがん薬物療法は、術前薬物療法、術後薬物療法、進行再発に対する薬物療法と、化学療法単独か放射線療法と同時併用する化学放射線療法に分類される。現在頭頸部がんに対し、適応の通っている薬剤は、

- ① 殺細胞薬：プラチナ系、フッ化ピリミジン系、タキサン系薬剤、
 - ② 分子標的薬：抗 EGFR 抗体セツキシマブ、
 - ③ 免疫チェックポイント薬：ニボルマブ・ペンブロリズマブ、
- がある。

口腔がんに対する術前化学療法は2つの Phase III 試験で生存期間の延長が示されず、現在推奨されていない。術後補助療法または局所進行例においては、化学放射線療法が選択される。一般に放射線照射と相性のいい薬剤はプラチナ系薬剤である。他癌腫において、化学放射線療法で選択される薬剤はシスプラチン単剤かシスプラチン + a が選択される。頭頸部がんにおいては、シスプラチン単剤か抗 EGFR 抗体セツキシマブが選択される。最近、シスプラチンとセツキシマブを比較した Phase III 試験で、全生存期間に有意差はなかったもののシスプラチン群が良好で、局所コントロール率ではシスプラチン群が優位に良好であったことにより、現在ではシスプラチン第一選択と考えられている。

進行再発頭頸部がんは、長らく CF 療法 (シスプラチン + 5-FU) が標準とされてきたが、CF 療法にセツキシマブを加えた治療が、CF 療法に比べて全生存期間が良好であることから、第一選択とされた。更に最近では、免疫チェックポイント薬 (ICI) であるニボルマブやペンブロリズマブが適応承認された。特にペンブロリズマブは PDL-1 の発現に応じて、1次治療としてペンブロリズマブ単剤かペンブロリズマブ + CP 療法が選択される。このように分子標的薬であるセツキシマブや ICI が導入されて、頭頸部がんに対する薬物治療の成績は大きく向上した。一方、セツキシマブや ICI は時には薬剤性肺障害を引き起こし、致命的となることもある。頭頸部がん患者の多くは、喫煙者であり薬剤性肺障害には特に注意を要する。

また、最近、中性子捕捉療法 (BNCT) や光免疫療法が頭頸部がんにも認可された。いずれも局所再発例に適応があるが、開始されたばかりであり、今後の進展が期待される。

略 歴

1984年3月 新潟大学医学部 卒業
1984年4月 下越病院 初期研修医
1986年4月 東北大学抗酸菌病研究所 医員
1991年4月 米国ペイラー医科大学 薬理学研究室 研究員
1994年11月 東北大学加齢医学研究所 呼吸器腫瘍研究分野 助手
2002年10月 東北大学大学院 医学系研究科附属
創生応用医学研究センター遺伝子 医療開発分野 助教授
2003年10月 東北大学大学院 医学系研究科附属
創生応用医学研究センター 遺伝子医療開発分野 教授
2008年1月 弘前大学大学院 医学研究科 腫瘍内科学講座 教授
2012年1月 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍内科学分野 教授
現在に至る

【認定専門医等】

日本内科学会：認定内科医・総合内科専門医
日本臨床腫瘍学会：がん薬物療法専門医・指導医
日本呼吸器学会：呼吸器専門医・指導医
日本がん治療認定機構：癌治療認定医

一般演題抄録

一般演題1 [良性腫瘍1]

口科 O1-1

顎下部に生じた異所性唾液腺由来の 多形腺腫の1例

○池田 裕之介¹⁾、小川 淳¹⁾、古城 慎太郎¹⁾、
川井 忠¹⁾、高橋 徳明²⁾、泉澤 充²⁾、
宮本 郁也¹⁾、武田 泰典³⁾、山田 浩之¹⁾

- 1) 岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座
口腔外科学分野
- 2) 岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座
歯科放射線学分野
- 3) 岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座
臨床病理学分野

【緒言】多形腺腫が異所性唾液腺から発生することはまれである。今回われわれは、顎下腺に近接した部位にみられた異所性唾液腺から生じたと考えられる多形腺腫の1例を経験したのでその概要を報告する。

【症例と経過】患者は80歳の女性で、右側顎下部の腫瘍を主訴に来院した。右側顎下に直径25mmの弾性軟、無痛性の腫瘍が認められた。MR画像では、T1強調像で低信号、T2強調像では内部性状不均一な高信号を示す境界明瞭な腫瘍が検出された。悪性腫瘍の可能性を完全に否定できなかったため全身麻酔下に顎下三角の郭清に準じ、周囲のリンパ節、顎下腺を一塊に腫瘍を切除した。切除標本の病理組織学的診断は、多形腺腫であり、腫瘍と顎下腺の間には結合組織が介在し、顎下腺組織とリンパ節内に腫瘍は認められなかった。術後6か月が経過し、再発はみられない。

【結語】異所性唾液腺から生じたと考えられるまれな多形腺腫の1例を経験したのでの概要を報告した。

口外 O1-2

再発をきたした導管内乳頭腫の1例

○齋藤 勇起¹⁾、小川 淳¹⁾、古城 慎太郎¹⁾、
太田 藍理¹⁾、泉澤 充³⁾、宮本 郁也¹⁾、
武田 泰典²⁾、山田 浩之¹⁾

- 1) 岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座
口腔外科学分野
- 2) 岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座
口腔病理学分野
- 3) 岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座
歯科放射線学分野

【緒言】導管内乳頭腫は、単胞性の嚢胞様に拡張した唾液腺排泄導管内に腫瘍が乳頭状に増殖する非常にまれな疾患である。臨床上の予後は良好で、切除後の再発はほとんど認められないとされているが、今回われわれは頬粘膜に生じ、再発をきたした導管内乳頭腫の1例を経験したので報告する。

【症例と経過】症例は69歳女性。右側頬粘膜の腫瘍を自覚し、近在歯科医院より当科紹介受診となった。MRIでは右側頬粘膜に比較的境界明瞭な14mm程度の腫瘍が認められた。右側頬粘膜良性腫瘍の診断の下、局所麻酔下に腫瘍摘出術を施行し、導管内乳頭腫との病理診断を得た。術後経過観察を行っていたが、11か月目で同一部位に腫瘍の再発がみられた。再度、局所麻酔下に腫瘍摘出術を施行し、前回と同様の病理診断を得た。現在、術後2か月経過しているが再発は認めず経過良好である。

【結語】今回われわれは頬粘膜に生じ再発をきたした導管内乳頭腫の1例を経験したので報告する。

第61回日本口腔科学会北日本地方部会
第49回日本口腔外科学会北日本支部学術集会
プログラム・抄録集

会 長：小林 正治 新潟大学大学院 医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野 教授

事 務 局：新潟大学大学院 医歯学総合研究科 組織再建口腔外科学分野内
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2-5274
TEL：025-227-2880 FAX：025-223-6516

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ
〒950-0983 新潟市中央区神道寺1-6-14
TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285
E-mail：kitanihon2023@shinsen-mc.co.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>